

身延の夜明け

小鳥の啼き声と

せせらぎの音に

霊山れいざん身延みのぶの

夜があける

いんいんとひびく梵鐘ぼんしょう

谷間からわき上がる白雲

朝まいりの人々が

老杉ろうさんの山道につづいている

祖師堂そしどう奥のほのぐらい御宝前ごほうぜんに

まばたく灯火、立ちこめる香煙かうえん

声しょう明みょうが高く低く静かに流れて

朝の勤行ごんぎょうが今はじまった

このひとときのさわやかさ

身も心も生まれかわったように清くなる